

令和7年度病害虫防除技術情報 第6号

令和7年8月4日
三重県病害虫防除所

県内でトビイロウンカの飛来が確認されました 被害の発生に注意し、早期の対策に努めましょう

1 対象作物：水稻（早期、普通期）

2 対象病害虫名：トビイロウンカ

3 発生状況

- （1）紀北町の予察灯（60W白熱灯）で、7月7日（1頭）、7月15日（1頭）、7月18日（2頭）にトビイロウンカの誘殺を確認しました（図1）。
- （2）名古屋地方気象台の発表によると、7月31日から1か月間の気温は平年より高い見込みであるため、トビイロウンカの活動に好適な条件が続くことが予想されます。

4 防除対策

- （1）本種は株元に生息するので、液剤・粉剤を散布する場合は株元に十分かかるよう散布してください。
- （2）出穂期以降に、カメムシ類の防除を兼ねて薬剤散布を行いましょう。
- （3）薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。
<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>
- （4）収穫時期が近づいている場合は、収穫適期の範囲内で早めに収穫し、刈り遅れによる被害拡大を防ぎましょう。
- （5）感受性低下が報告されている農薬成分（表1）の薬剤は使用を避けるようにしてください。

表1 ウンカ類において感受性低下が報告されている農薬成分

【虫種】 トビイロウンカ
【農薬成分名】 イミダクロプリド、チアメトキサム、クロチアニジン、ブプロフェジン

5 その他

県内では令和2年に多発し、坪枯れ被害が発生しました（図2）。



図 1 紀北町の予察灯で誘殺されたトビイロウンカ



図 2 令和 2 年に発生したトビイロウンカによる坪枯れ被害の状況（左）と、株元のトビイロウンカ成虫（右）

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。